

部・次長会議 要約会議録

日時：令和元年7月1日（月）8：30～9：15

場所：名寄庁舎4階大会議室

1 開会

2 市長あいさつ

- ・6月定例会が終わった。今後はすみやかに課題を共有していきたい。
- ・6月は雨が少なかったため農作物の生育にどう影響するか危惧している。
- ・6月はイベントも多く、残念ながら白樺まつりは雨天中止となってしまったが、概ねそれ以外は順調に行われた。
- ・昨日、北海道消防協会上川地方支部名寄分会消防訓練大会が開催された。名寄での開催は5年ぶり、スポーツセンターでの開催は10年ぶりであった。市民の観覧もあり盛大に開催された。
- ・6月18日新潟・山形地震が発生し、最大震度6、津波注意報も出された。母村である鶴岡市では家屋・道路に被害が出ている。人的被害は今のところはないが、応援体制を整え、引き続き行方を見守りたい。
- ・現在、九州で災害級豪雨が発生。全国市長会・全国青年市長会にて、情報共有・応援体制を整えている。引き続き「できる支援」を模索する。
- ・今月は名寄市防災訓練F I G - aなよろ「課題を見つける避難訓練」が予定されている。名寄においても、他人事ではなく自然災害が発生する可能性について改めて万全の体制の準備をお願いする。

3 市長・副市長の動静

教育委員会関係行事予定

- ・市長、副市長の動静及び教育長の動静について連絡がありました。

4 協議事項・報告事項

(1) 国土強靱化計画の策定について【総合政策部】

- ・内容について説明がありました。

(2) 住みよさランキングについて【総務部】

- ・内容について説明がありました。

5 連絡事項

(1) 令和元年度名寄市在宅医療介護連携推進・認知症予防事業による講演会の開催について【健康福祉部】

- ・内容について説明がありました。

6 その他

- ・名寄・リンゼイ姉妹都市提携50周年記念式典について説明がありました。【経済部】
- ・町内会長と行政との懇談会について説明がありました。【総務部】
- ・風連ふるさとまつりについて説明がありました【経済部】
- ・プレミアム付き商品券について説明がありました【総合政策部】
- ・参議院議員選挙について説明がありました。【総務部】

7 閉 会

〈橋本副市長から〉

- ・今一度、関係団体の経理について確認をお願いします。

〈加藤市長から〉

- ・ 7月 はふれあい広場や戦没者追悼式があるので天候に恵まれてほしい。
- ・ 7月 12日（金）・13日（土）には薬用植物フォーラム 2019 が5年ぶりに名寄市で開催される。全国から薬用植物に関するメーカーや研究者の方が一同に会するイベントである。また今回は現役の大 臣である吉川農林水産大臣が来られる。7月 13日（土）には市民講座も開催されるのでぜひ会場に足を運んでいただきたい。
- ・ 内閣府から派遣されていた東神楽町副町長木村俊孝氏が6月末で2年の任期を終えた。自治体職員を経験して強く感じたというお話をご紹介したい。
 - ① 金がないと言う自治体は工夫していないだけ。
 - ② 自治体は今後、人手不足を原因に倒産していく可能性がある。これからはどの組織も人手不足を解消せずには生き残れない。人を育て、人が集まる組織にできるかということが重要となる。
 - ③ 自治体職員はまちづくりの医者であるべき。そのまちにおける病気・病巣を早急に発見し、原因が特定できたら解決策という処方箋を練り上げ、住民と一緒に治療していく。ときには大改革という大手術も必要である。加えて自治体職員がこれらを実行できる能力を体得することが急務である。
 - ④ 地方の衰退は自業自得。課題は確かに難しいものが多いがあるが、知恵を絞れば解決できることばかりである。
 - ⑤ 変革はいつの時も内部の者が実践する。自分は外部の人間であり、きっかけはつくることできるが、地方の人たちが主役となりまちづくりを進めてほしい。
- ・ 先日、遠別町にて名寄遠別線の会議があった。デマンドバスの運転手の人手不足が深刻。海外では、郵便配達とデマンドバス、タクシーとスクールバスなどを効率的に組み合わせて実践している例がある。地方の課題を解決するには、様々な弊害があるが、ときにはそれらを取っ払うのが自治体の仕事なのでは。
- ・ 総合計画のローリングが始まる。20年後、30年後を見据え、課題を先送りせず、それぞれの問題に対処できるよう準備をお願いしたい。